

あ い さ つ

千葉県学校事務研究協議会

会長 関口 晴彦

第 61 回千葉県学校事務研究協議会総会において会長に就任いたしました成田市立加良部小学校の関口晴彦でございます。前任の小熊会長をはじめ、諸先輩方の長きにわたり積み上げて来られた成果や実績を引き継ぎ、会長の任を務めることに不安と責任の重さを強く感じています。微力ではありますが誠心誠意努めさせていただく所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本年度は、研究計画「ちば夢プラン(vol.1)」の4年目であり、まとめの時期を迎えます。研究課題「人材育成(人づくり)」を中心に研究を推進するとともに、研究テーマ「地域とともにある学校づくりと学校事務」について、これまでの研究を整理し、学校事務機能、事務職員の果たす役割を追究いたします。そして千事研のミッション「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」の達成に向けて、会員の皆様と共に活発な研究会活動を行ってまいります。また、昨年度末には新たな「共同実施のあゆみ」を発刊いたしました。各地区・支部において共同実施の理解を深め、更なる発展のため活用していきたくしたいと思います。

本年5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行され、千事研活動も平常に戻していきます。コロナ禍のこの3年間では、研究大会の動画配信開催や層別研修会の半日開催、千事研ホームページを活用した総会の電子表決、各活動に対してのWebアンケートなど活動内容の変更を余儀なくされましたが、会員の皆様からの意見・要望などの声を聞くことや、働き方改革も踏まえた千事研活動・業務改善を考える機会にもなりました。これからも様々な工夫を凝らしながら効率的で効果的な千事研活動を皆様と共に創造していきたくと思います。

先が見えない昨今ではありますが、私たち事務職員も未来展望をもち、子どもたちの未来のために、千事研の歩みを止めず、つなぎ、前進する研究に取り組んでまいります。今後も会員の皆様の御協力と御支援をよろしくお願ひいたします。